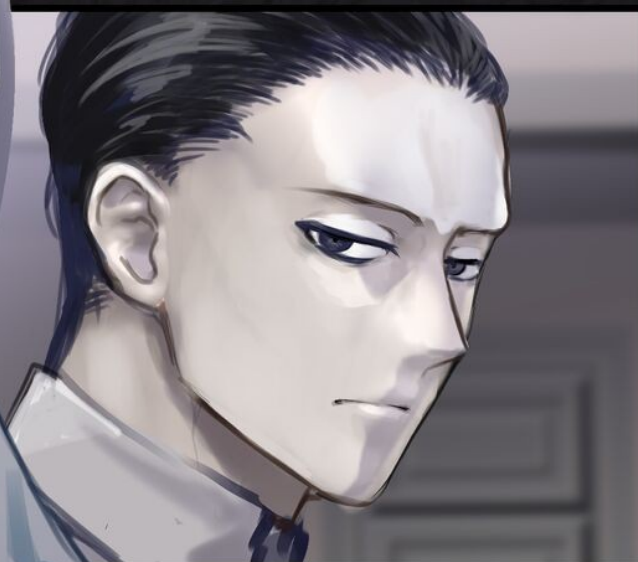




少女×触手×純愛
カラー
69P

Connect

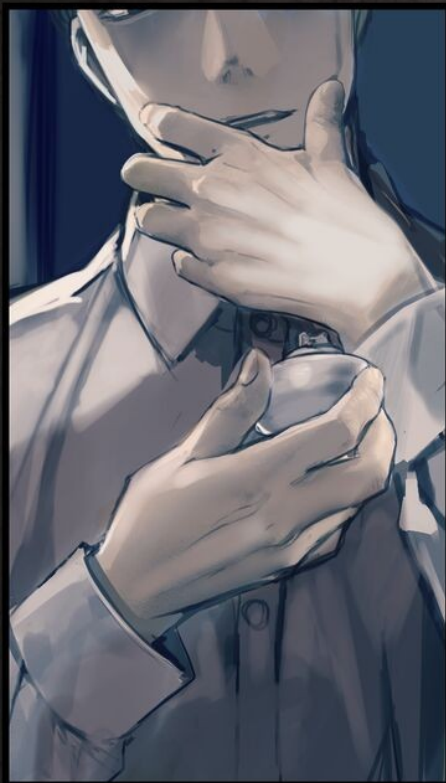
~少女は触手と愛をつむぐ~
後編



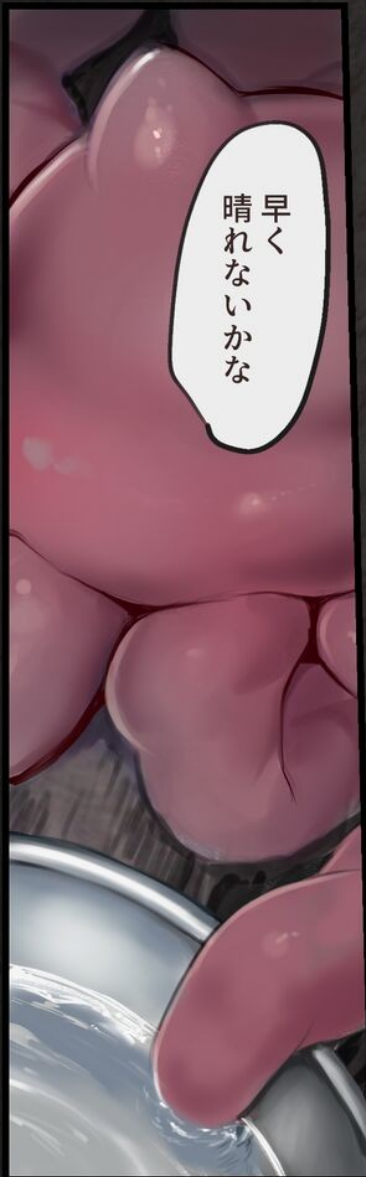












早く
晴れないかな



今日も
お外には
行けないね



一緒に暮らす
よくなってから
しばらく経ったけど

お父様の書齋で
この子と出会って





わたしお父様に話さないと思って思ってるの
あなたのこと

帰って
きてから
もう三日

お父様は一度もわたしを怒らなかつた



気付いて
ないのかな

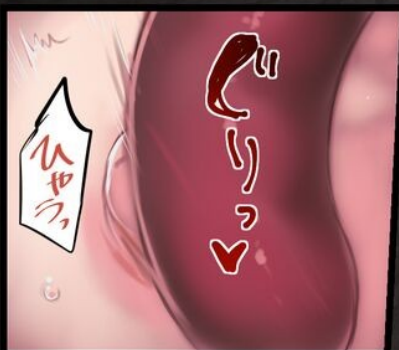


それとも
気にしてない
のかな……

謝ったら許してくれるかな

ちゃんと
お話して









どうして
ギイギ...

こんなに
舐めてくるん
だろう...

はー

はー

ずわんずわん...

はー

じゃれてる
のかな

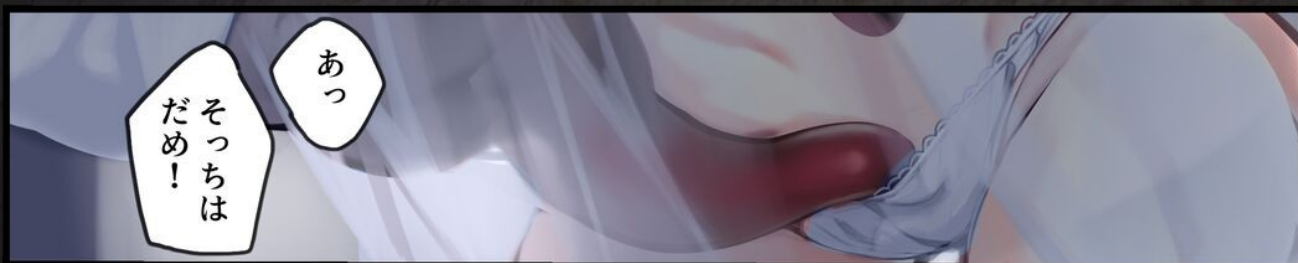
が

が



ふあっ...♡

すっぴん♡



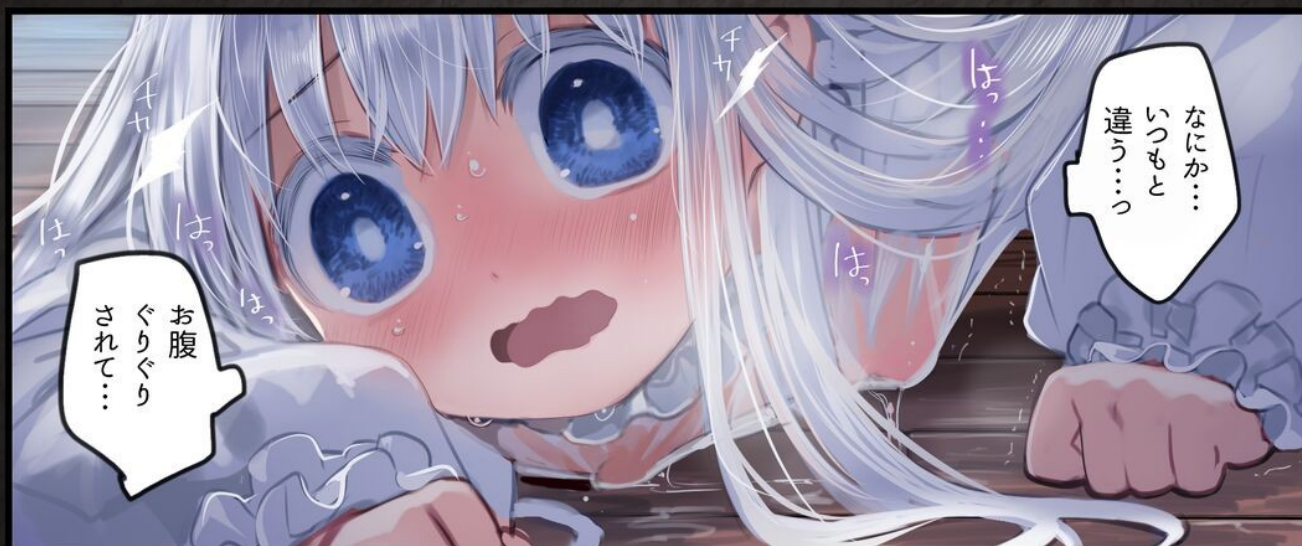
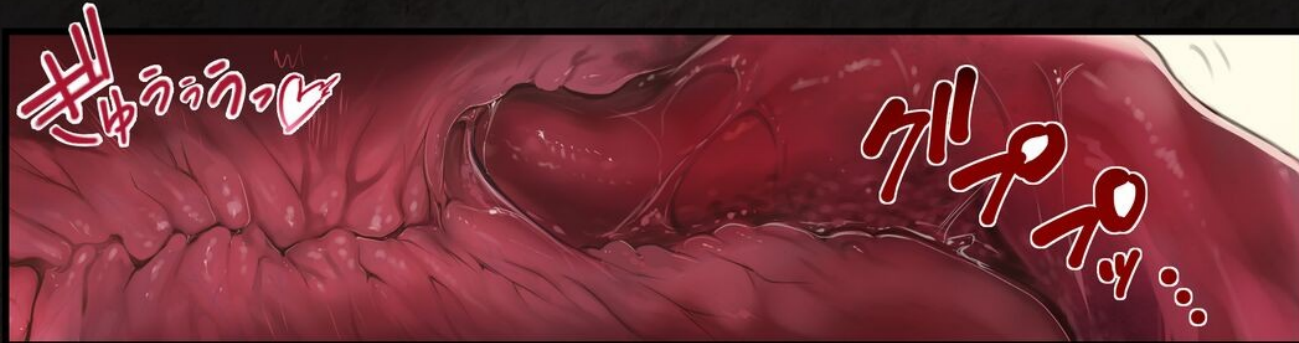
あっ

そっちは
だめ!



ギイギッ

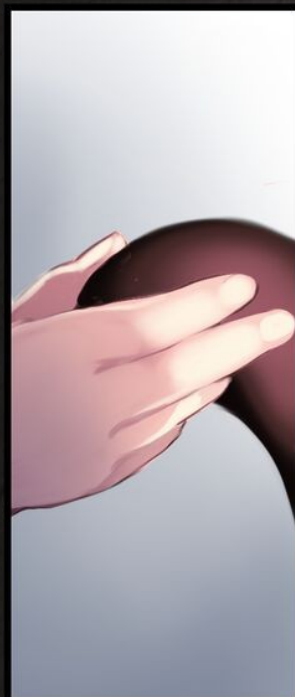
ぐわん





ギィギの事は

やっぱり
まだ解らない
ことばかり



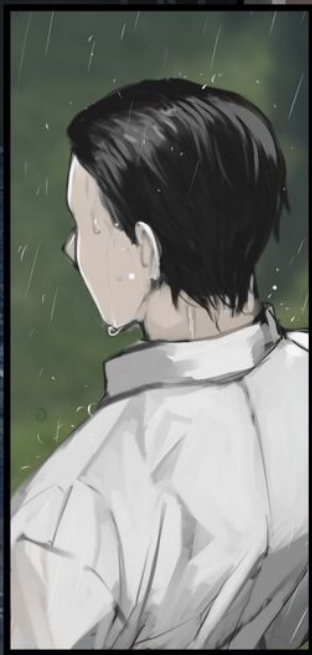
でも

お父様なら
解るかな

教えて
くれるかな

あなたのこと



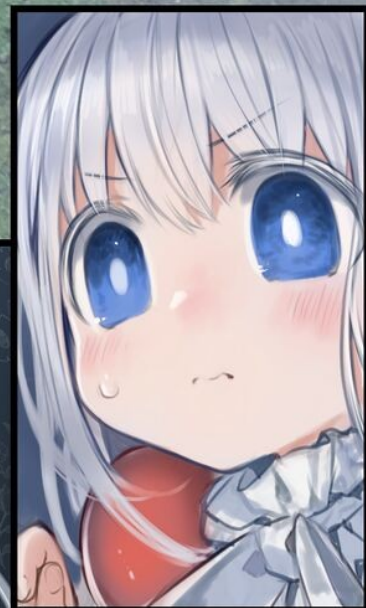


見て

お父様が
外にいる…

最近ずっと
書齋にいた
のに……

また何処かに
行くのかな

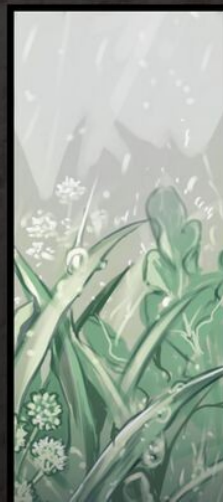
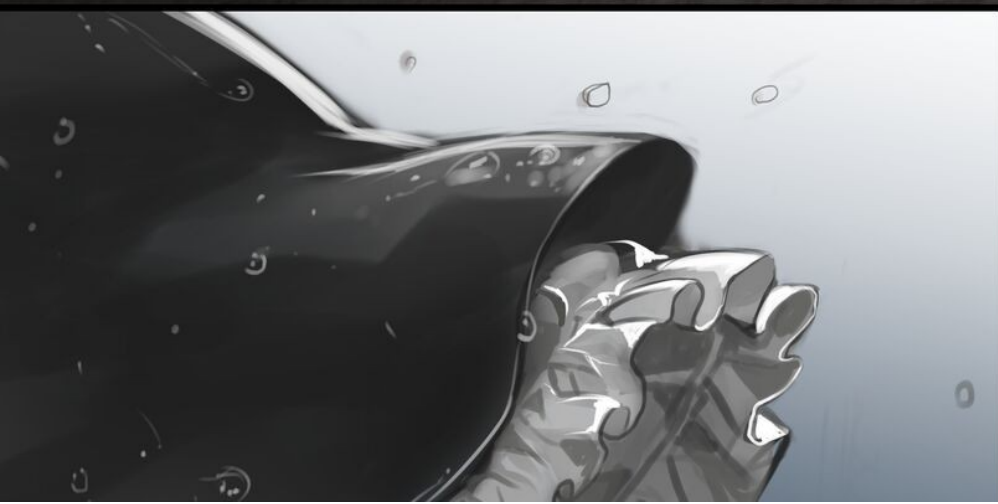


ギィギ

わたし
行ってくる

お父様に
ちゃんと
伝えなきゃ!



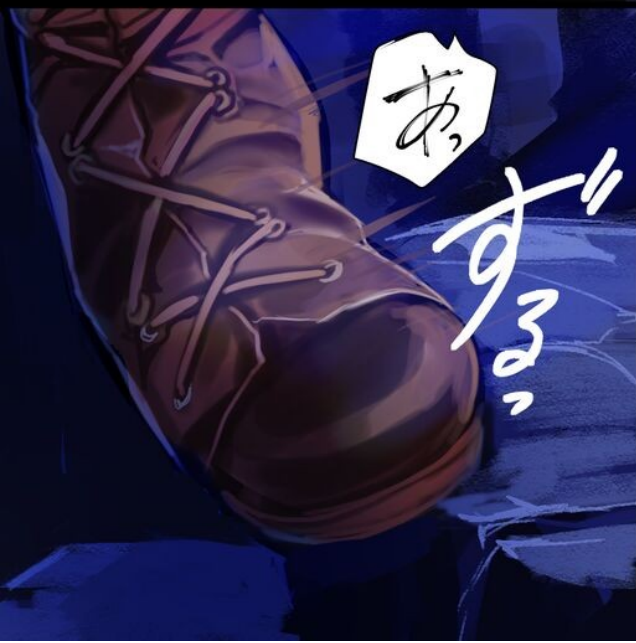






行こう



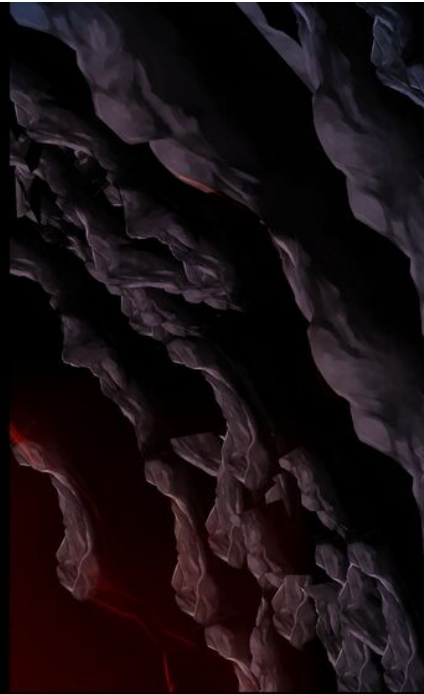






わたしね

お父様とお話したいの
沢山の話を



いっぱいお話ししたい
それから…

お花畑で遊ぶ日のこと

一緒に風呂に入ったこと



初めての会った時のこととか



あ



えへへ…



ギィ



伝えたいの

大事な友達が出来たよって



向こうかな



おとつ...おの...

おとつ...おの...









ギギ



ハッ

ギイギ!



暫くはじっと
していなさい

…お父様……
どうして……



友達……？

お願い！
大事な友達
なの！

だが
儀式には
必要なんだ

辛い思いを
させたくは
なかった…

ギイギを
放して！
お願い
お父様！

ギギ

ギ

ギ

ギ



全然
わからないよ!

なんの
お話しなの?



これに
そんな感情は
備わっていない

まだ未熟だが
かの者の眷属だ
……犬や猫とは違う

や

ラッ



それは
食事だよ

ギイギは
わたしの



ギイギは
ずっと傍に
いてくれたもん!

泣いてるとき
涙を拭いて
くれた!

いっぱい
抱きしめて
くれた!



ルシエット

今まで
寂しい思いを
させてしまった



これからは
私とエリスが
お前の傍にいる

三人で：
元通りに
なれるんだ



お父様！

まって！

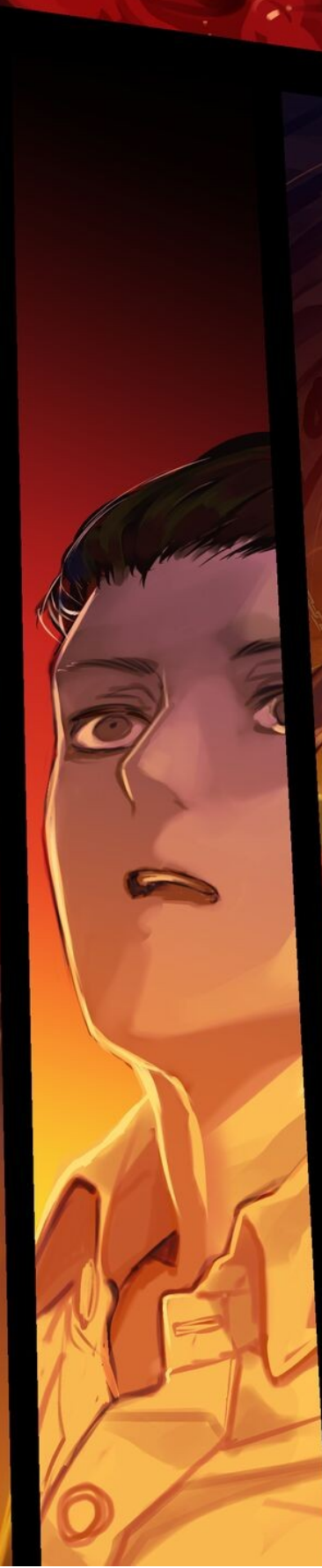
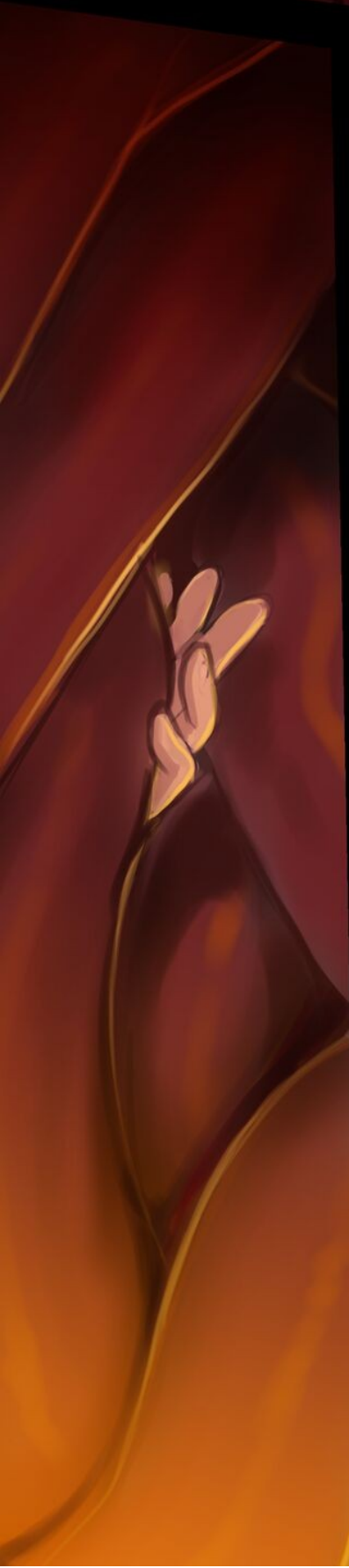


だめ

.....!!



彷徨える魂を
導け！





ああ



エリス





エリス!

エリス!

やっと!
やっと会えた!



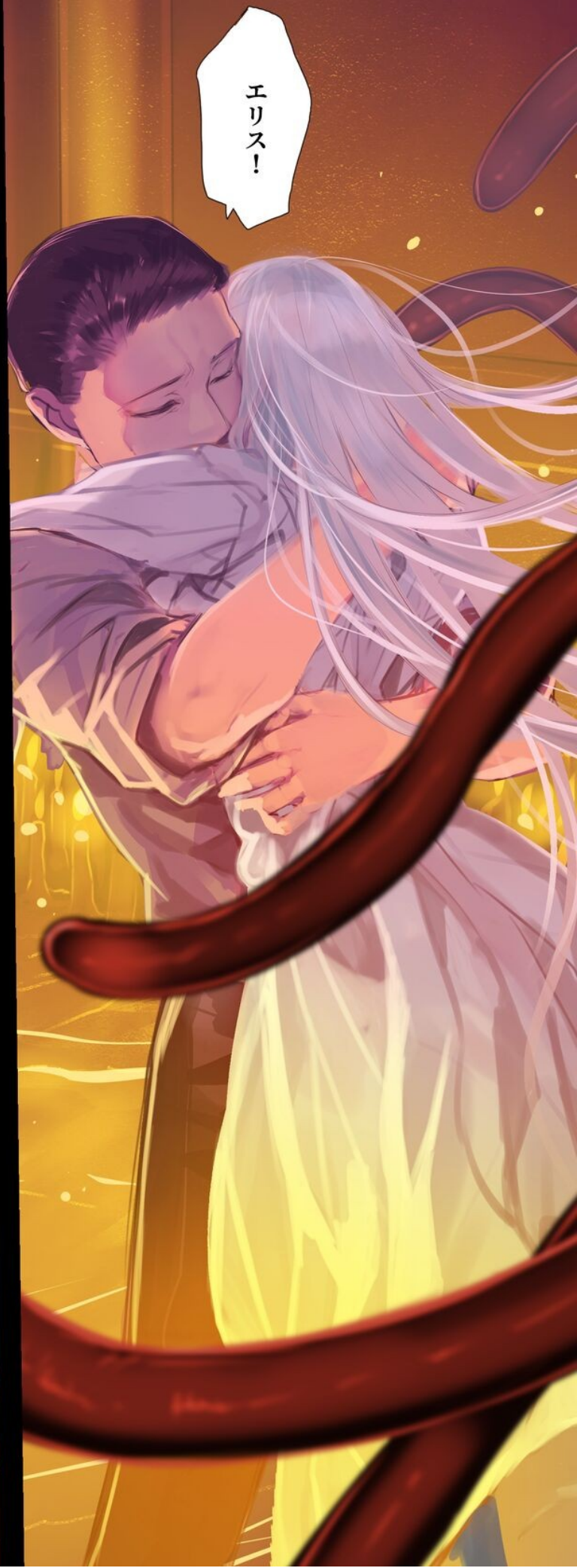
あ...
あ...

あ



だめ!

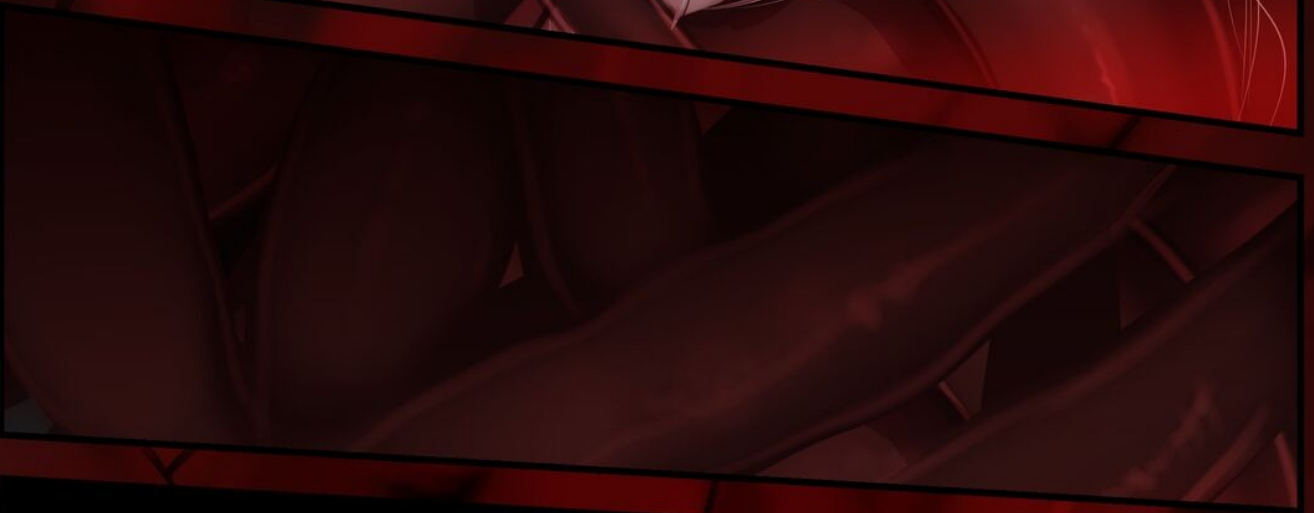
ギイギ.....!



エリス!



.....





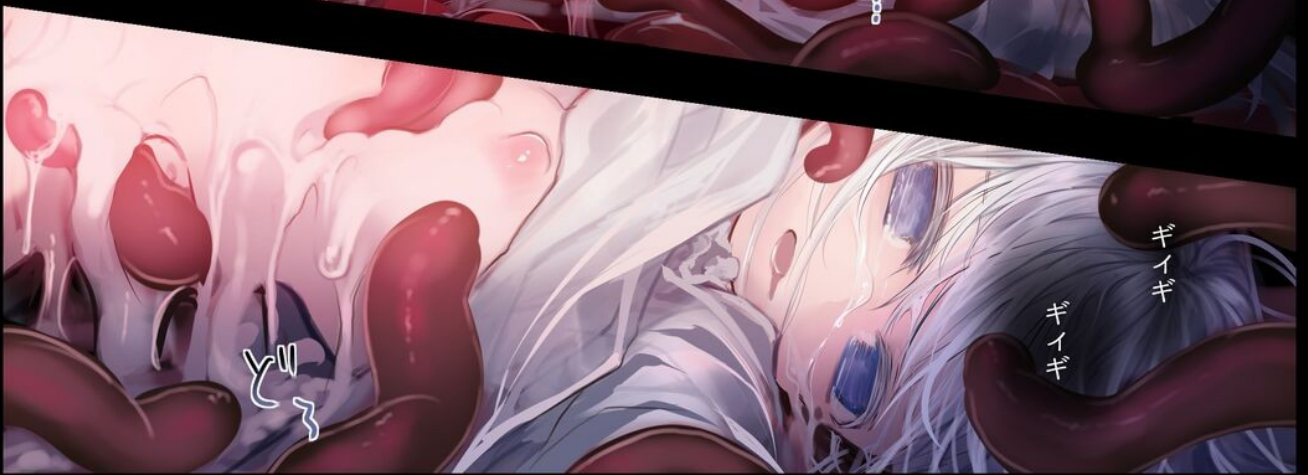
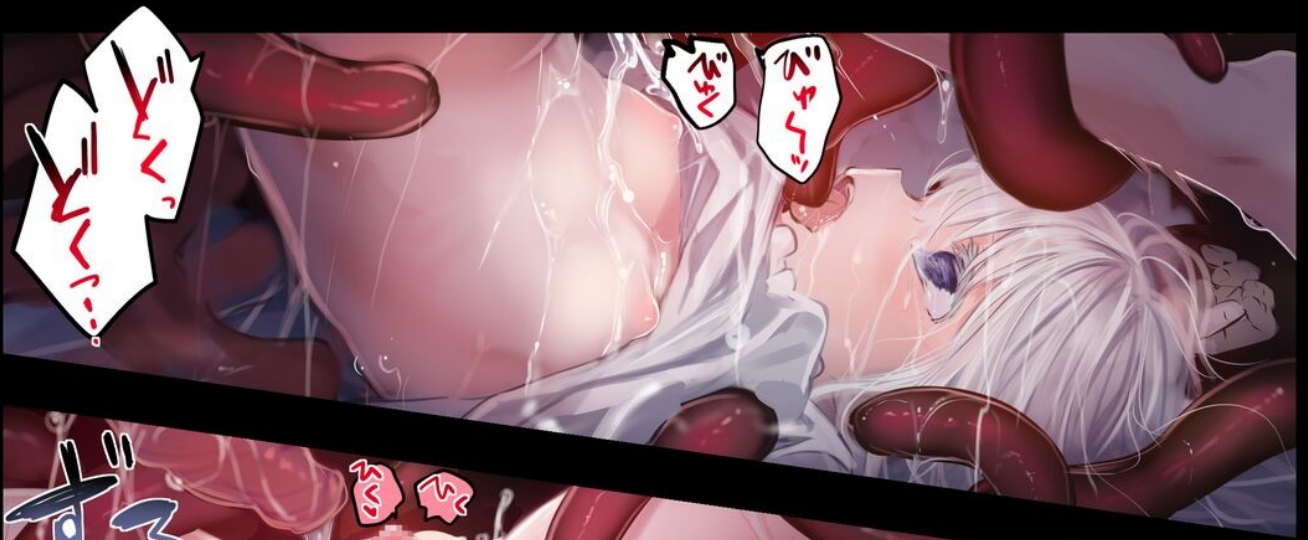
あれ？

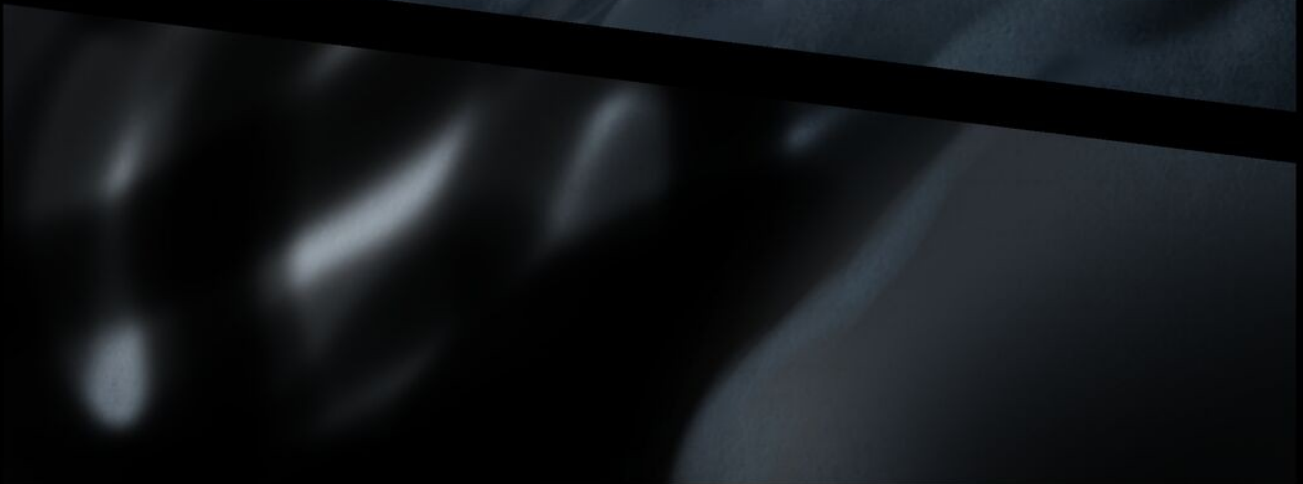
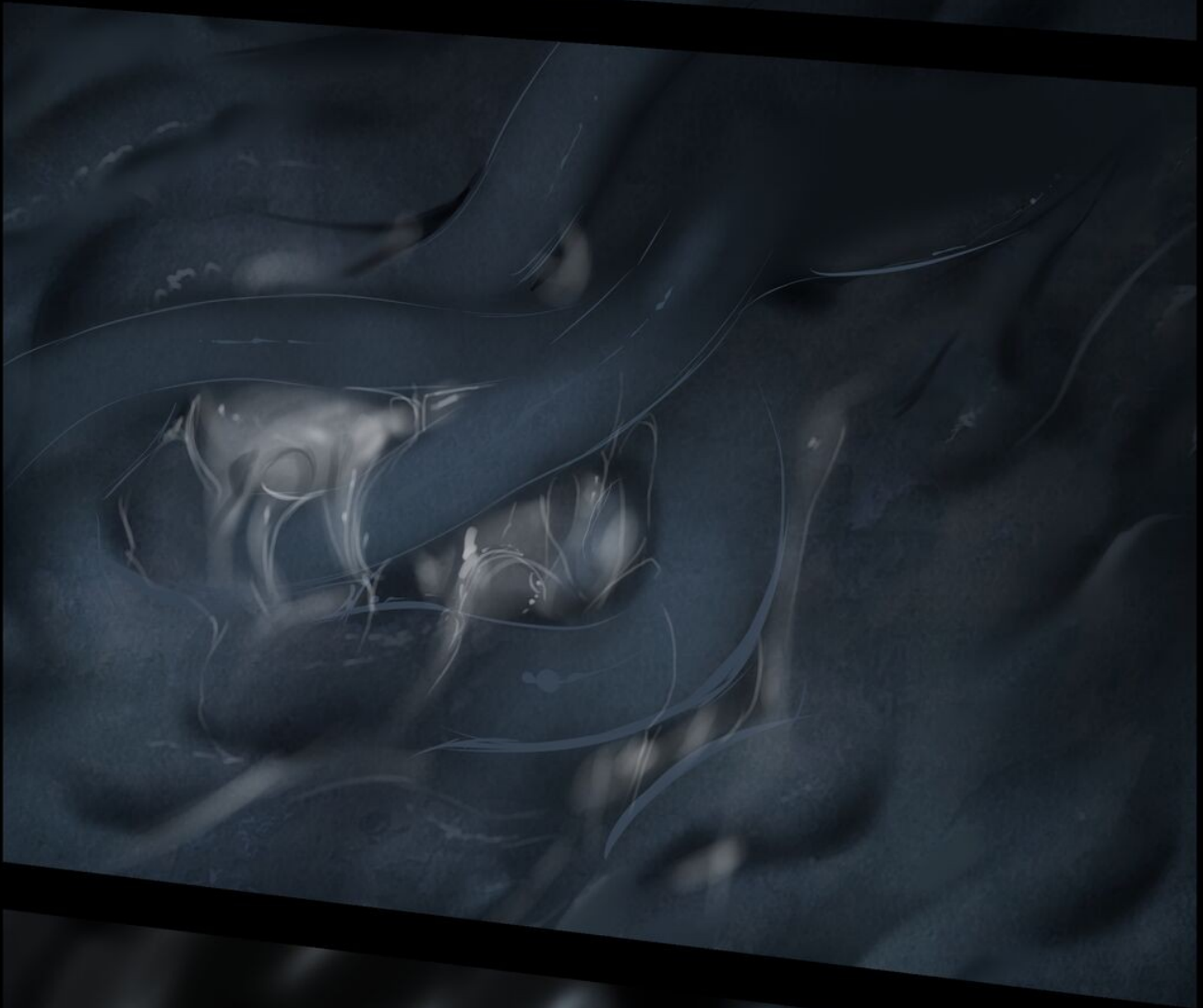
すいすい

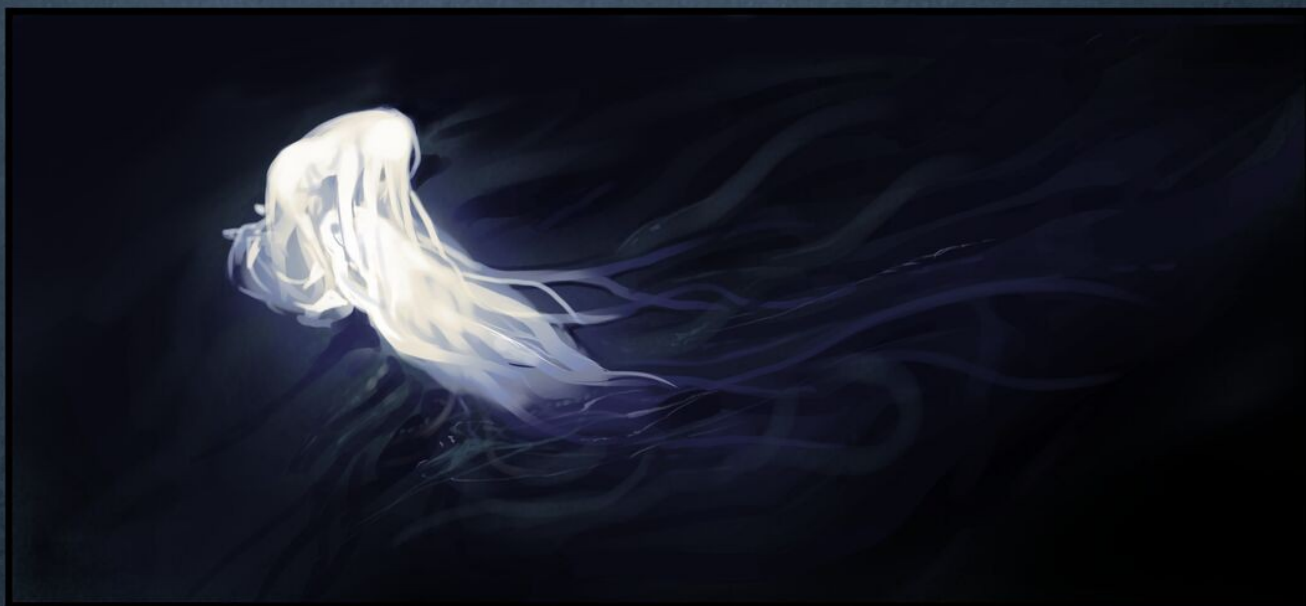
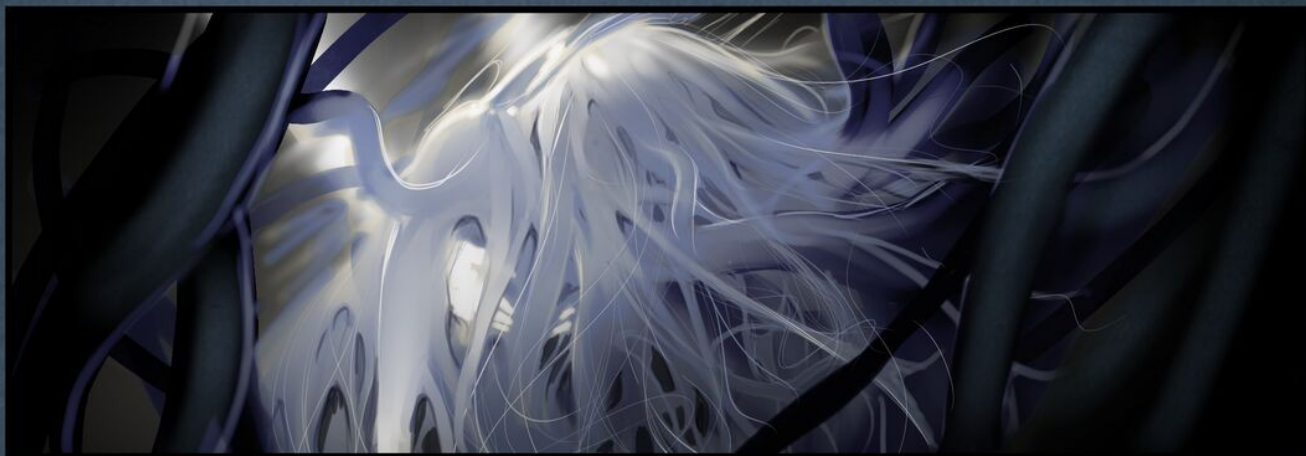
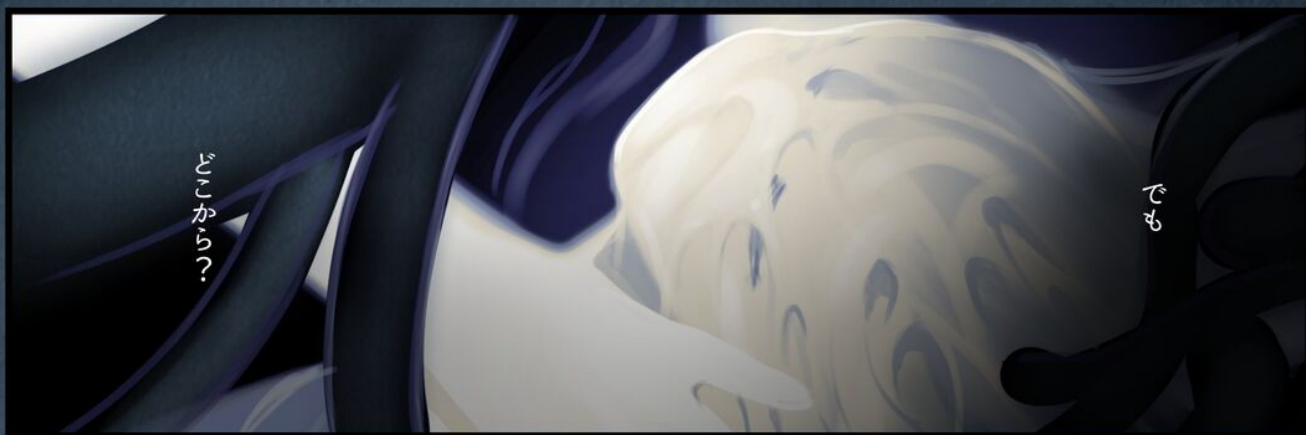
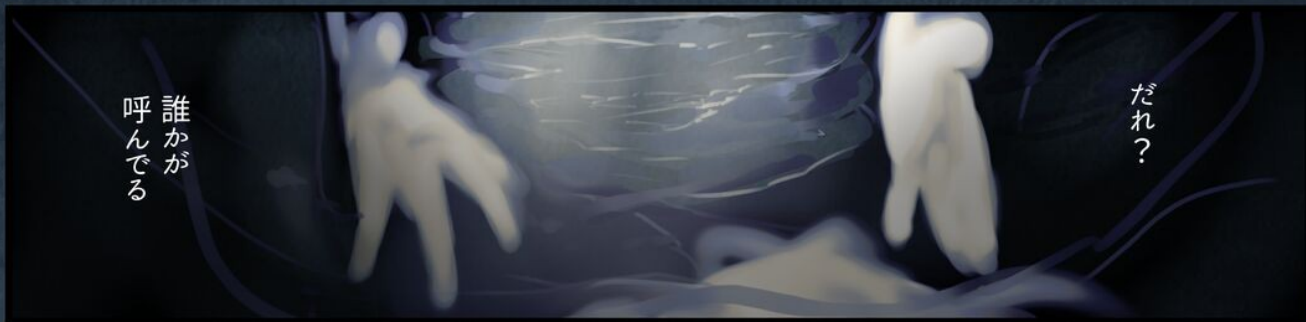
すいすい

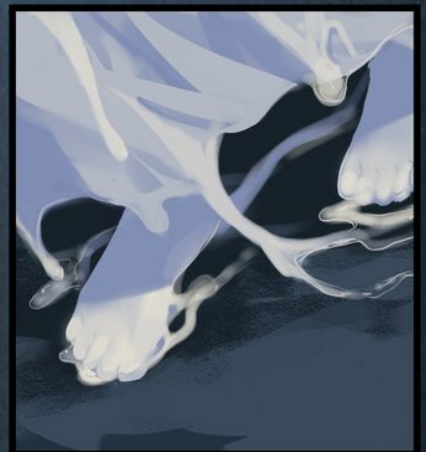
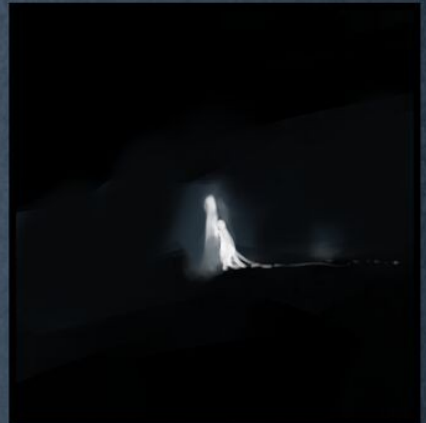
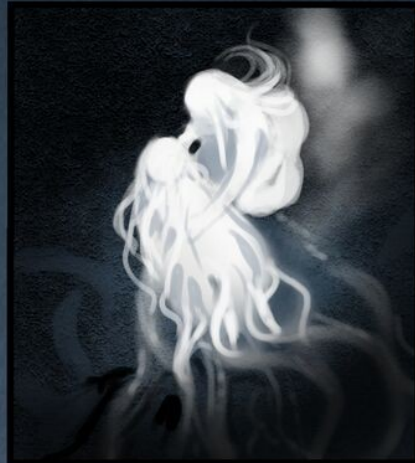
すいすい……すいすい……すいすい……





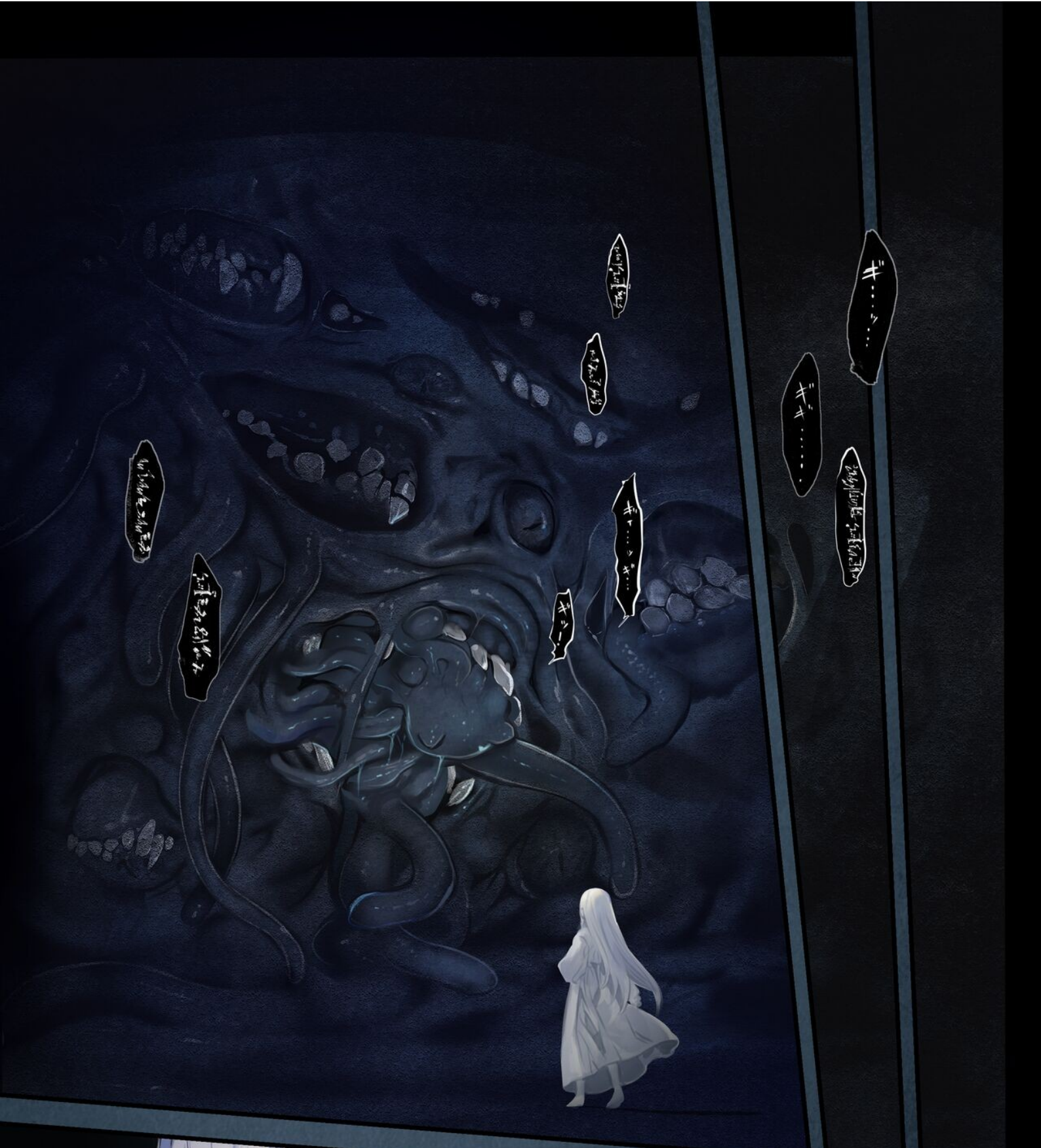












は...は...は...

は...は...は...

は...は...は...

は...は...は...

は...は...は...

は...は...は...

は...は...は...

は...は...は...

は...は...は...



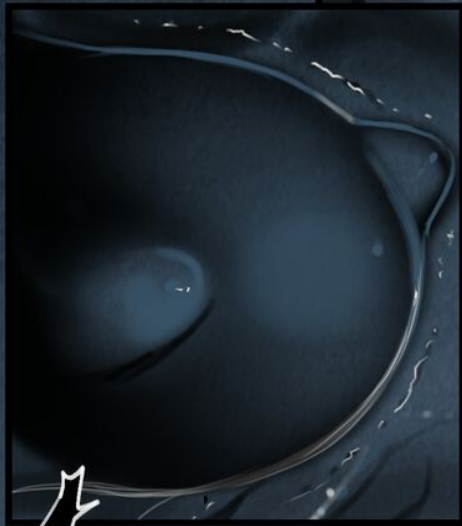
は...

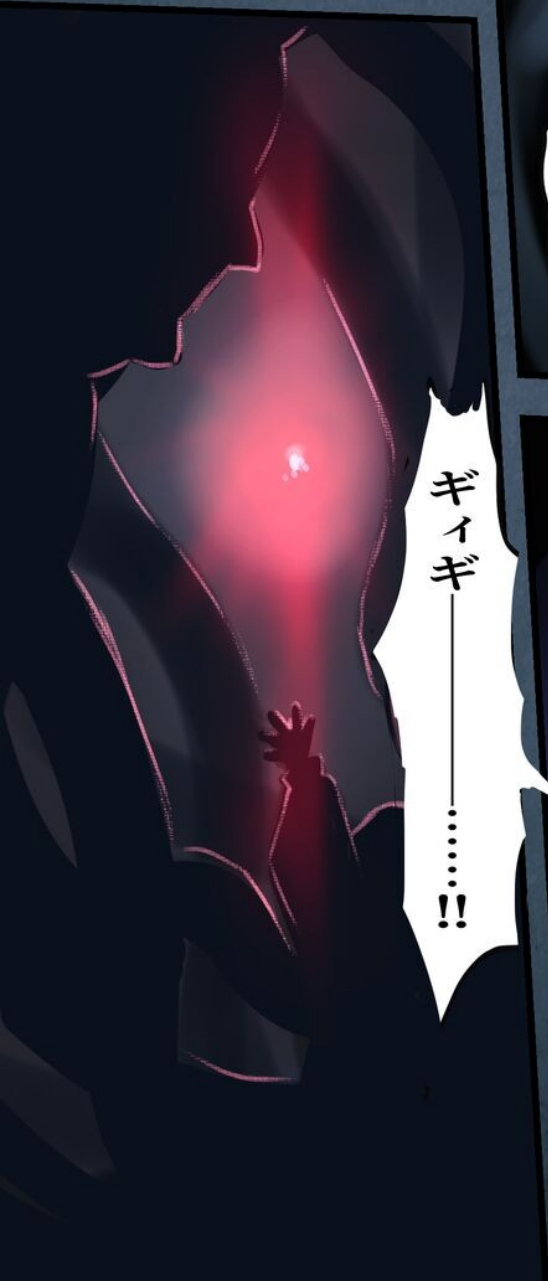
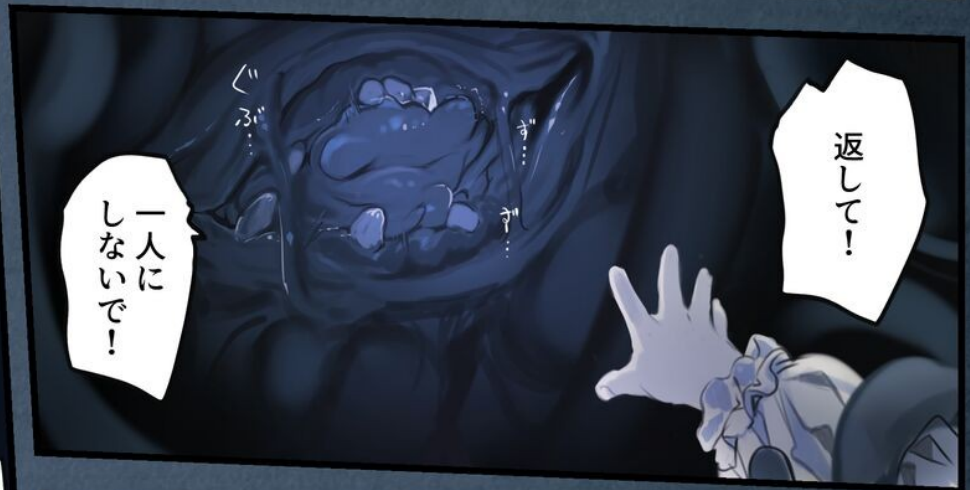
は...

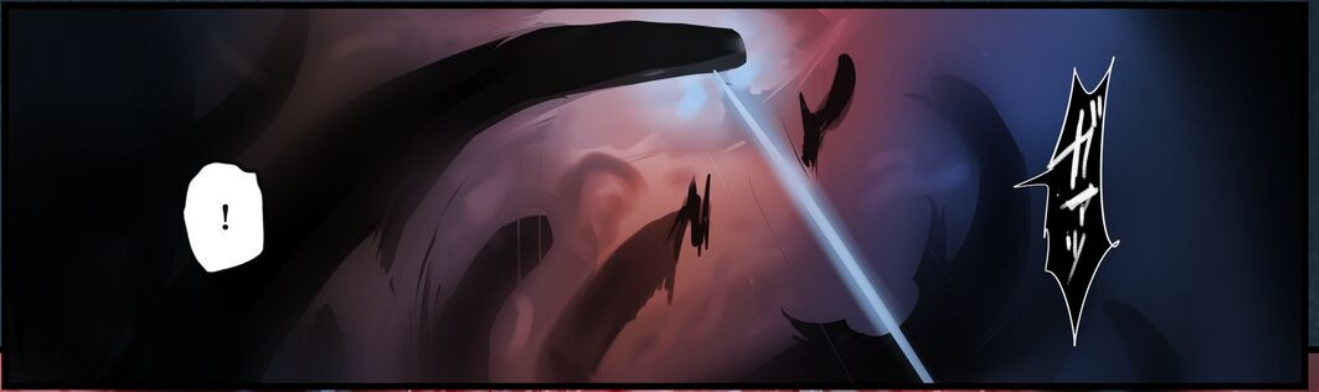
は...

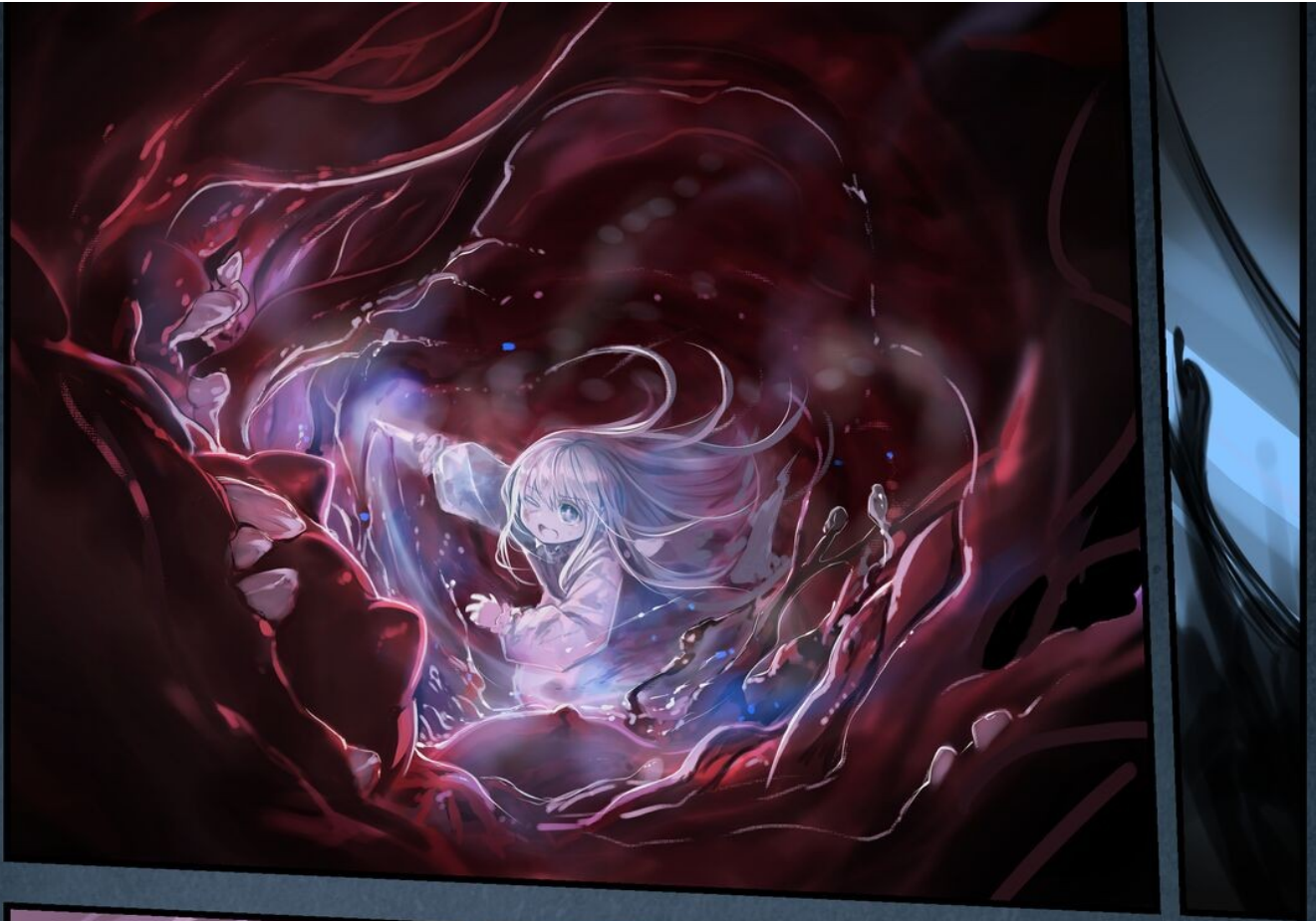
は...









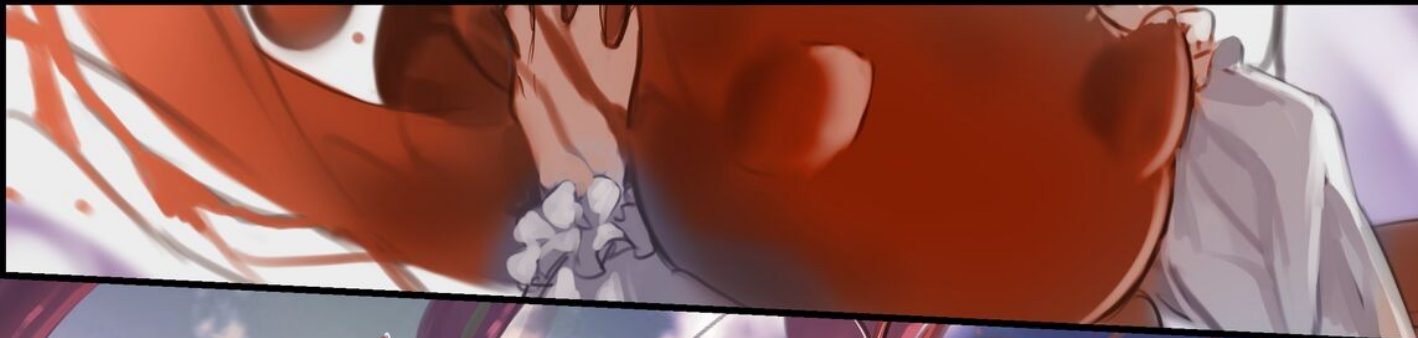


もう
独りぼっちは
いや



何があっても絶対





この手を離さない





も
もうちょっと
待ってください



お嬢様
準備は
出来ましたか？



ヘイネルさんが
見つけてくれた

倒れていた
わたしを



——
あの日



ヘイネルさんは
悲しそうに
話してくれた



お家も
ほとんど
壊れちゃって

お父様も
見つから
なかったって



お父様は
帰って
こなかった

日が沈むのを
三度見送っても



それでも……
帰ってくるかも
しれないって



わたしは
旅に出よう
と思う



ヘイネルさんも
一緒に来てくれる
と言ってくれた



戸惑って
いたけど
友達だよって
言ったら

……



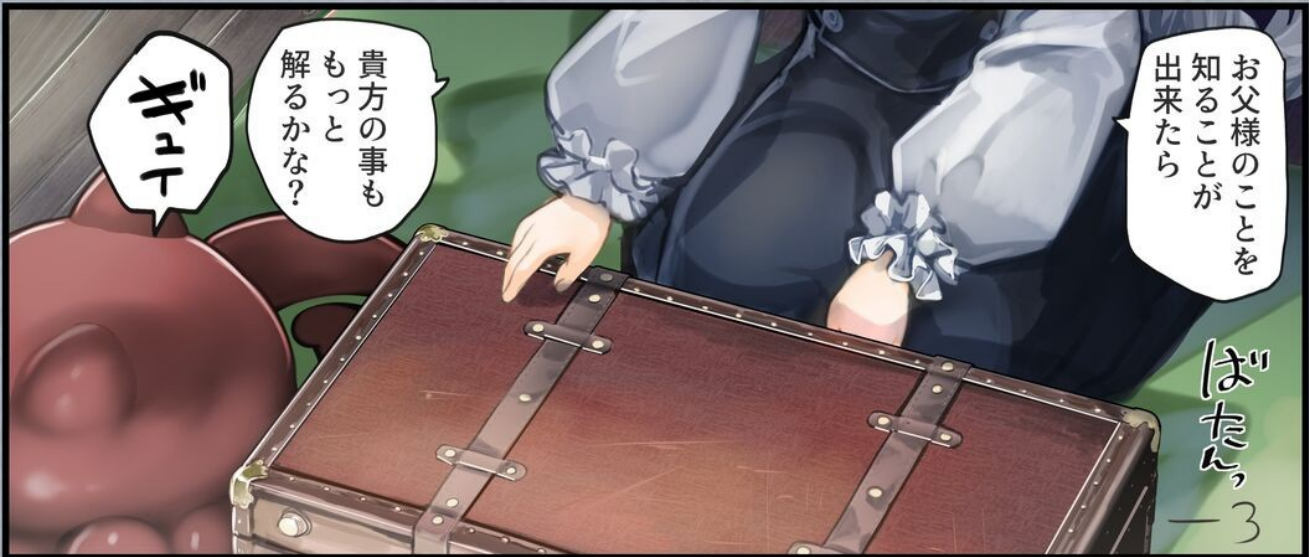
ヘイネルさん
ギイギを初めて
見た時



少し困った顔で
受け入れてくれた



わたし
お父様のこと
何も知らなかった



「グハッ」

貴方の事も
もっと
解るかな？

お父様のことを
知ることが
出来たら

はたん、
—3



かぎ



ハッ



お待ちせ
しました！



……では
先ず
近くの町へ
行きましよう

その子は
町に入る時は
隠して下さいね

目立ち
ますから

は……はいっ



ギィギィ

行こう
ギィギィ！

わたしはもう
独りぼっち
じゃないから



少し不安
でもきつと
大丈夫



THE END

